

眞の平和を喚起するのである。

天地間最下の動物乃至非情物に到る迄、感恩と云ふ美的行爲がある、況や靈長としての吾人に此の感恩の情無らんやである、此の感恩の情、神佛に對しては慈悲と表れ、人類に對しては信仰と現はるのである此の慈悲と信仰の接觸する所に、萬物の價值と、人間味を計る事が出来るのである。

二三世紀の昔から改革改造の聲は、吾人の耳朶を叩いて居た然かし末だ其の實現を見ない故に此等の文字否叫びは、單なる時代の流言としか思はれなかつた。愆ふして遅々たる社會歩調の中にも微少ながらに其の改革改造の花は咲き、方今文化生活とて、やゝ人間味を帯び人生に幾分の満足を與へるかの様に思はれる。然し本化的見地から之れを見た時、只現在實行されんとしつゝある文化生活は、人生を容れる外殻のみである。實際其の主人公たる人間の文化的生活は奈邊に存するか、疑はなければならぬ此處である、大業として否本化的見地の超勝なる所以は上述の如く、一感恩の情に活き、一信仰の念に住して、所謂報恩生活に住した時始めて、人生として眞の文化的生活を營むものと見做す事が出来るのである。

要するに物質文化の上に精神文化、即ち本化的信仰に活きる所、眞實生活の安定と、眞の平和とを把取するのである。……紙上有限の事故概略を記して本化的文化生活の骨目を揭示した譯である。



私の生命觀

渡邊 泰 深

人若し、九州の地圖を開かんか、鎮西唯一の大都會、玄海灘怒濤の灣頭に當りて、松録翠を重ね、白砂渺

たる勝景、千代の松原の中に、蓋然として、天空に聳ゆる、世界の偉聖、日蓮上人の嚴然たる、銅像を見るならん。予昨の晩年、杖を拽いて彼の砂上を徘徊し、追想せし事多時、感甚だ深かりき。

推ふに上人、今を去六百五十幾星霜の昔時、武州玉川の畔り、一夫子の邸に、一縷の法煙に化されしと雖も、尙ほいまだ滅せず、爾來時移り、人渝り幾世幾代、文物爲に進化し、民衆等しく、濁流に混せども人類の奥底に、光澤爛として、滅せざるは何ぞや、肉体の死は、即ち靈の永久の生命たる事、誰か疑はざらんや昨は今日の過去にして、又今は未來の過去たり、生々番々連綿として、不斷の進化を呈する事、豈に人爲と謂ふべけんや。時は物の破壊たると同時に、又來るべき創造建設の基礎たり、吾人の求むる明日は永久に來らざる如く、而して人生五十年は、只行路の一波のみと、云はざるべからず、而して吾人は、過去の產物として、現世を知覺し、未來の觀念は吾人亦宜く、因果律を信じて、過去なる種子を播く處に存す、げにや、過去も吾人の爲に存し、未來は亦吾人あるが爲に開くるを疑はず、而して未だ、三者相須たずんばあらざるなり、何ぞ道は嚴にして、人感するに疎なるや、故に因果は宇宙の眞理にして、宇宙亦因果の顯現たり、如何に人爲の尊を極むとも、貧者賤民の底に泣くとも、生死の觀或は生の由來する處に至りては、兆等しく己れの力にもあらず、父母にもあらざれども、父子の因果に適ひ、道德律の上より見て、彼を父母と云ひ、我は子と名けらるゝなり、而して父子の二者、又宜しく擴大して、因果律を造り家族制を布くなり、思い此處に至らば、自己對父母の生命の連鎖は、運命てふ自然の力に、任するを常とす、故に佛教は此を不可思議となし、我は以つて妙法となす、知るべし月は、盈飾の當相を月の本然とし、花は散開の儘に、妙法を體すと云ふ。

古人死を評して云へる事あり、紅顔よく幾時ぞ黃梁一炊、夢は忽ち野戰の枕に破れ、榮華一瞥魂は空しく黃墟の山に迷ふと、又聖者「ソロモンの榮華の極の時だにも其の粧、花の一箇にも如かざりき」と死以つて然らんか、生も又評するあり「夢なき眠り如くんば死も亦憂あるに足らん、曷ぞ生を煩ふや」とぞ。

わゝ惜むべし笑ふべし、故に楞牛「人々死を考へよ死を考ふるは、死滅の謂にあらすして生を知るなり」

吾人以て如何となす。

肉體は土より出でて土に歸り、靈は空より出でて、漠として去る、而も靈たるや生を育み、常に進化創造の神として、否佛として體ては、人生の確付者たるなり。吾人人生に倦める時、或は自然の驚異に、神ありと信する時、其の人の生命の中には、神あり佛存在す。

而して此の觀念の延長は、引いては宗教の偉大なる部分として、運動を補佐するなり、所謂る吾人佛を信するとは、過去の有限的覺體を信するにあらず、又理想の影を追跡するにあらず、換言すれば佛とは全能なる力にして、信するは圓滿なる佛の行爲は吾人の近く否吾人の實際に働くにある、此の信仰の爲めに吾人努力の必要あり、修養の根底を有するなりと、云はざるべからず。あゝ白砂綠上の偉聖、日蓮上人の、千古不朽の尊像に對する時、吾人は深く上人の、過去を追想し求心的に總ての果徳を、吾人の小なる五尺余寸の、身上に根ざさんことを希ふ。



偶 感

小 坂 田 龍 教

一、本尊の濫授

私は日頃から我宗殊に勸財上手な坊様達に依て、その相手の信不信に關らず、寄附金の額により、施物の